

令和元年度学校関係者評価

学生と教職員全員を対象にアンケート形式による調査を3年毎に実施し、自己点検・自己評価を行っている。その結果により教育等の3年計画目標をたて学校運営を行っている。目標達成のため毎年重点目標を設定し、教職員による目標評価を行うとともに、学生による授業・学校生活、実習、国家試験対策等のアンケート結果をもとにした自己評価を毎年行っている。

令和元年度の自己評価による学校関係者委員会を開催し結果を報告します。

1 教職員による目標評価について

1) 受験者数の確保につとめる

総受験者数は昨年と比べ、0.1%の減少が見られたが、推薦入学希望者は増加した。このことから、本校を第一志望とする受験生が多くなったことがうかがえる。今後も近隣校への訪問や進路相談会への参加、学校説明会の開催、またホームページの充実等を図り受験者数の確保に努める。

2) 学生の教育充実と国家試験対策につとめる

学習環境を整え、対象の状況を考慮した教授活動を行う努力をした。国家試験対策は、学生アンケートを実施していることで今後の国家試験対策に活用している。

目標評価の報告から、委員より学校の教育活動、学校運営について適切に行われていることがみてとれると評価された。

地域・社会に貢献できる看護師教育のため、今後も質の高い教授活動ができるよう、教職員一同自己研鑽に励んでいく。

2 学生による授業・学校生活、実習、国家試験対策アンケート結果について

1) 授業・学校生活アンケート結果 5段階評価(3.5未満を否定群とする)

学生自身の学習への取り組みは平均3.7、教員の授業の進め方については平均4.0、学校生活については平均3.9であり、否定群はなかった。

低学年より自己学習への取り組みを意識した個別指導を行っていることが、学生への意識付けに効果を得ている。授業については、視覚教材や参加型学習が学生の記憶に残り理解も深まっている。今後も授業研究を行い学生の学びにつながるよう工夫していく。

学校生活について、意見箱を設置していることを知らないと答えた学生が多く、今後は全学生に分かるよう、また学生からの意見を聞けるよう工夫していく。

2) 実習アンケート結果

すべての学生が実習での自己の成長を感じている。学習環境や人間関係などが学生の学びに大きく影響していることから、今後も環境等を整えていく。

3) 国家試験対策アンケート結果

学生が国家試験対策として最も学習に取り組む時期は、すべての実習終了後であった。長期休暇中に取り組めた学生もいるが、何をすればよいかわからない学生もいることから、学生個々に応じた対策が必要である。

委員より、各実習場所での情報交換や実習のあり方などの質問があった。また、各実習施設代表者から協力しながら実習評価を高めていけるようにと、教育活動に協力的な意見を頂いた。今後も本校の役割を認識し、教育の質を高め適切な学校運営に努めたい。